

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業		
小事業	01	みくに龍翔館管理運営事業			02	みくに龍翔館展示事業			他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、文化振興基本法				
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査、活用を図る。

【事業の概要】

- ◆みくに龍翔館管理運営事業 本庁 33,686千円
 - 賃金 臨時職員賃金（3名） 7,016千円
 - 報償費 講師・協力者・委員・指導・有識者謝礼 738千円
 - 需用費 消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本被等 9,463千円
 - 役務費 通信運搬費、手数料、保険料 957千円
 - 委託料 施設管理委託料、計画策定委託料等 15,077千円
 - 使用料及び賃借料 事務機器借上料・山車借上料等 388千円
 - 備品購入費 施設用備品・展示用備品・図書購入 38千円
 - 負担金 県博物館協議会等負担金他 9千円
- ◆みくに龍翔館展示事業 本庁 1,125千円
 - 報償費 指導謝礼、展示借上謝礼 203千円
 - 需用費 消耗品費、印刷製本費 452千円
 - 役務費 運搬費、展示資料損害保険料 458千円
 - 使用料及び賃借料 12千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト				
事業費	27,794	26,258	37,281	1,536
人件費	27,691	20,477	25,711	7,214
総事業費	55,485	46,735	62,992	8,750
人員				
正職員	3.50 人	2.28 人	2.80 人	1.22 人
臨時職員	2.40 人	2.70 人	2.70 人	-0.30 人
人員計	5.90 人	4.98 人	5.50 人	0.92 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	2,775	3,197	2,986	△ 422
一般財源	52,710	43,538	60,006	9,172

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	みくに龍翔館入館者数	人	目標	12,000	13,450	13,450	13,750	14,810
			実績		11,733	11,548	11,669	13,703
		達成率(%)	0.0	87.2	85.9	84.9	92.5	
指標の説明								
指標	みくに龍翔館入館料等収入	千円	目標	3,000	4,077	4,577	4,187	4,187
			実績		2,776	3,197	2,927	3,576
		達成率(%)	0.0	68.1	69.8	69.9	85.4	
指標の説明		みくに龍翔館入館料、教育費雑入（町誌頒布代、コピー代他）						
指標	新収蔵資料受入数	点	目標		1,000	1,000	2,000	10,000
			実績		116	334	1,000	7,667
		達成率(%)	0.0	11.6	33.4	50.0	76.7	
指標の説明		整理・目録化した新収蔵資料の点数						
指標	リニューアル検討委員会開催数	回	目標	2	4	4	4	1
			実績		4	3	3	1
		達成率(%)	0.0	100.0	75.0	75.0	100.0	
指標の説明								

指標に基づく評価
三国湊の日本遺産認定記念展や季節のミニテーマ展などタイムリーな企画で入館者増を図りました。収入減は、特別展図録を発行しなかったことによると考えられます。開館運営と並行してリニューアル事業を進めているため、資料受入作業が遅滞しており、新常設展示を見据えた資料収集・調査研究を早急に進めたい。リニューアル検討委員会からの報告をもとに基本計画を策定中です。

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	開館37年を経過した施設の老朽化への対応や、坂井市全体の歴史文化遺産を対象とする収蔵・展示内容が求められており、館のリニューアル事業を進めています。老朽化した設備の修繕は、リニューアルを考慮の上、実施する必要があります。また展示面でも、常設展示リニューアルに即した資料収集・調査研究を具体的かつ早急に進める必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	坂井市合併後は、旧三国町から坂井市全体に対象範囲を広げ、資料収集を行うとともに特別展などを実施してきました。リニューアル事業では、現在、リニューアル基本構想を踏まえ、検討委員会から検討報告書が提出され、基本計画を策定しています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	みくに龍翔館管理運営事業	拡充	建築・設備および展示の改修工事を行い、令和5年春のリニューアルオープンをめざす。基本理念「みせる つなげる はぐくむ」のもと資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及、観光連携の5つの事業を行う。
	みくに龍翔館展示事業	拡充	日本遺産「三国湊」をはじめ、坂井市の豊かな歴史文化遺産をテーマとした常設展示を展開し、市の魅力を発信するとともに、テーマ性・話題性のある企画展や特別展を開催する。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	令和2年度で建築（設備）・展示の設計を行い、令和3・4年度で改修工事を行い、令和5年春のオープンを目指します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	拡充		
目標年度 令和4年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事業	051	文化施設管理運営事業	中	事業	26	ONOメモリアル管理運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		みくに龍翔館
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。

【事業の概要】

- 報償費（高校生現代アートビエンナーレ、ふるさと坂井絵画展） 904千円
 - 指導謝礼 398千円
 - 参加賞・賞品・賞金 506千円
- 旅費 23千円
 - 費用弁償 23千円
- 需用費 886千円
 - 消耗品（施設管理消耗品・大会行事消耗品他） 37千円
 - 印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷） 113千円
 - 光熱水費（電気料・水道料） 337千円
 - 修繕料（施設等修繕料） 53千円
- 役務費 83千円
 - 通信運搬料（電話料、切手代） 70千円
 - 火災保険料 9千円
- 委託料 1,659千円
 - 施設管理委託料（警備保障、清掃、樹木管理） 906千円
 - イベント事業委託料他 533千円
- 使用料及び賃借料 84千円
 - 車両借上料（ビエンナーレ現地説明会時バス借上料） 84千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	3,638	2,155	3,288	1483
	人件費	10,767	5,461	8,153	5306
	総事業費	14,405	7,616	11,441	6789
人員	正職員	1.45 人	0.72 人	1.10 人	0.73 人
	臨時職員	0.60 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
	人員計	2.05 人	1.02 人	1.40 人	1.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	14,405	7,616	11,441	6789

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	ONOメモリアル入館者数	人	目標	500	500	500	500
		実績		551	234	434	169
		達成率(%)	0.0	110.2	46.8	86.8	33.8
指標の説明							
指標 独自指標	企画展の回数 （主催事業及び後援事業）	回	目標	1	2	1	2
		実績		3	1	2	1
		達成率(%)	0.0	150.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明 毎年および隔年開催が各1企画							
指標		点	目標				
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		回	目標				
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	高校生現代アートビエンナーレは、実行委員会の協力のもと実施しました。16校125名が参加、34作品の出品がありました。また、常設展示のリニューアルとオープニング演奏会を開催するなど、事業の充実が図られ、入館者増となっています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	現在、ONOメモリアルは、現代美術等の企画・育成事業による稼働率も低く、十分に活用されている状況ではありません。今後も引き続き、より柔軟で効率的な管理運営を図るよう検討していきます。		
これまでの見直しや改善等の実績	ONOメモリアルのより柔軟で効率的な管理運営を図るため、民間団体の組織化・育成も検討しましたが、現代美術という特殊な分野であること、またそれに精通した人材も少ないことなどから、実現には至っていません。 アーティスト戸田正寿氏のインスタレーションにより常設展示のリニューアルを行い、館企画事業の充実を図りました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	ONOメモリアル管理運営事業	継続	隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	こどもが描くふるさと坂井絵画展、北陸三県高校生現代アートビエンナーレ等で積み重ねてきた実績を活かしてPR活動にも取り組んでいくことで、文化芸術を振興していきます。
目標年度			
中長期的な方向性		継続	
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					